

平成 29 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ I 講座 教授
氏名 Name	林田理恵
専門分野 Academic Field	ロシア語学・ロシア語教育論

主たる研究テーマ Principal Research Subject	①ロシア語アспект研究 ②ロシア語学習者中間言語分析 ③文科省外国語教育強化地域拠点事業－高校ロシア語教育プロジェクト基盤研究
<p>① Ju.S.マスロフ著「アспект論」(全4章, 415 p.)について, 校正作業を進め, 共訳者との訳語のすり合わせ, 事項・言語索引等の作業を終えた. 出版社より近刊予定.</p> <p>② 国内外で初となる日本語を母語とする学習者データに基づくロシア語学習者コーパス構築に向け, 1) 他言語における既存学習者コーパスに関する情報収集と先行研究の整理, 2) HSE コーパス開発部門(ロシア連邦・モスクワ)における研究調査を行い, 3) データ電子化作業を開始, すでに一部データについてコーパスとしてアップロードを行った.</p> <p>③ 文科省より受託した「平成 29 年度外国語教育強化地域拠点事業」について, 研究主任として「地域に貢献するロシア語人材育成につながる教育課程編成を展望した, ロシア語学習指導案・評価法確立のための基盤研究」という研究開発課題を設定し, 2017年4月－2018年3月まで, 北海道, 青森, 関東, 富山の4拠点校において5領域総合型ロシア語学習指導案・評価法を開発, その試験的実施に取り組んだ. また高大ロシア語教育関係者による共同実践研究・ワークショップを開催, 新しい指導案に基づく授業活動の相互見学会等を実施, 2018年3月には日本外国語教育推進機構(JACTFL)のシンポジウム・分科会において事業研究成果を発表, 多言語教育展開への基盤整備を行った. さらに高大接続事業の今後の展望を踏まえ, 各高校校長, 教育委員会, 大学関係者と協議を進めた.</p> <p>④ 上記③に関連し, 2017年9月, 授業改善・指導能力向上を目的とした高等学校現職教員研修を国際文化フォーラム主催で組織, ロシア語教育の現状と今日的課題, 文化教育, 音声指導, 授業活動の実際, 教材作成等の研修内容を企画, 運営を組織した. また主任講師として, ロシア語教育の現状と今日的課題, 新学習指導要領の捉え方について講義を行った.</p>	